



日高山脈博物館だより

HIDAKA MOUNTAINS MUSEUM NEWSLETTER

日高山脈博物館は「ジオ・ミュージアム」
道内唯一の地質と岩石の登録博物館！

通算 第82号 2023.11.

日高山脈ネイチャーセミナーをそれぞれ開催しました。

日高やその周辺での地質や岩石の観察、岩石薄片の作成、自然観察などなどです。

8月27日に「いろんなジオサイトへ行こう」、9月10日に「岩石を顕微鏡で見てみよう」、10月15日に「秋の森探検」を、それぞれ新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を講じた上で、開催しました。8月6日に予定していた「おたから石と岩石図鑑の作り方」は、前々日からの降雨と河川の増水などによって中止となりました。

「いろんなジオサイトへ行こう」では、新冠町の判官館周辺に見られる、1500万年前の海底でできた地層の詳しいでき方や、新冠泥火山の観察を行ないました。判官館の地層には、当時上昇しつつあった日高山脈由来の礫も含まれています。「岩石を顕微鏡で見てみよう」では、岩石を0.03mmの薄さにまで研磨した岩石薄片の作成過程の仕上げを体験し、偏光板がセットされている偏光顕微鏡で岩石がどのように観察されるかを学びました。今回は、日高山脈を形成する岩石のひとつである、「変はんれい岩」を用いました。「秋の森探検」では、国立日高青少年自然の家～サンゴの沢のなみだの滝周辺までの自然を観察しました。前年度と同じコースを同じ時季に探索することで、その年によって自然がどう異なるかも観察できることも視野に入れていましたが、前年と比べどんぐりやオニグルミ、マタタビなどの木の実が大変少なく、ヤチダモに集まる雪虫も観察できず、前年とは異なる自然環境を観察することができました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策のため、それぞれ講座は、普段より募集人数を少なく設定していましたが、参加申し込みはいずれも、その募集人数を越えるものでした。地質や岩石の講座を行なうことのできる博物館は、道内でも数少なく貴重であるため、地質や岩石が好きな方々には人気があるのかもしれませんが、今後も、当館の特徴である地質や岩石の分野を活かした活動をしていきたいと考えています。



「秋の森探検」



「いろんなジオサイトへ行こう」



「岩石を顕微鏡で見てみよう」